



白河内古墳石室の壁画



第 7 号

平成14年8月1日発行
那珂町歴史民俗資料館
(那珂総合公園内)

戸崎428-2 ☎ 297-0 0 8 0
FAX 297-0 0 7 5

紙本墨書大般若経



那珂町の文化財(5)

紙本墨書大般若経 (附唐櫃3合)

額田北郷 毘盧遮那寺

紙本墨書 569帖からなる

横95cm 縦25・7cm

毘盧遮那寺は、那珂町額田北郷にあり、森戸山宝光院と号する。寺伝によると、建久三年(一一九二)文覚上人の開基で、森戸宝光坊が森戸に建立したのがもとであるという。

「開基帳」によると琳海より六代目の俊興が応安六年(一三三三)に法流を伝授し、一三代目俊性が文明一三年(一四八一年)に熊野権現を勧請したという。

のちの元禄十一年(一六九八)、徳川光圀の命により、向山に移った。しかし、檀家が遠くなり衰微してしまうという理由から、正徳元年(一七一二)に現在地に移転した。

紙本墨書大般若経は、その毘盧遮那寺に寺宝として伝えられたもので、壇那は額田城主小野崎下野守善通ほか五十人。筆者は額田南郷森戸の蓮蔵院の仕僧理順房順海ほか三十人あまり。

初めは、巻本十巻を一箱として、唐櫃三合に入れ、明応六年(一四九七)に額田鎮守八幡宮に奉納されたが、後に現在の寺に納められた。元禄一四年(一七〇一)乱丁を修正、折帖にした。その後も何度か修正され、そのたびに奉納者・細工人名の記載がある。

歴史的資料として大変貴重なものであることから、昭和五二年(一九七七)県指定文化財となり、その後不足の三一帖が補充された。

現在、那珂町歴史民俗資料館に内二帖が展示されている。

館内展示品解説 (五)

江戸時代、多量の荷物を輸送するのには、船が使われました。当時、長大で水も豊かな那珂川はそういった船による輸送（舟運）に盛んに利用されていました。また、舟運業務を行っていたところを河岸（かき）といい、那珂地方には下江戸・大内・戸に河岸が開かれていました。今回は展示している古文書の中から、舟運に関する資料3点を紹介したいと思います。

近世

①

おそれながらこうしようしよのこと
（下江戸 那珂通裕氏所蔵）

口上書（あるいは口書）とは、裁判が終結したときに作成された文書で、内容からいつどのような争い事があったのかを知ることができる。

この「年恐口上書之事」は享保元年（一七一六）に、下江戸村から繰綿と塩荷を部垂（へたれ）（現在の大宮町）の商人に送っていた五兵衛が他河岸の利権を侵し、下大賀村（現在の瓜連町）の煙草荷を自分名義で水戸河岸へ送ろうとして当時の河岸守齊藤権兵衛との間で問題となり、荷主や作人が中に入って



和解内済したことが記されている。元禄以降、舟運に衰退が現れる宝暦まで、このような舟運の利権を廻る問題は多かった。

また、この文書には、「私河岸之儀寛永元年以来河岸御証文先々御奉行様より奉拝し河岸守仕」との一文があり、下江戸河岸は那珂家（当時齊藤家）が寛永元年（一六二四）に開設したことを知ることができる。

近世

②

おかづけちよう
岡附帳
（下江戸 那珂通裕氏所蔵）

一般に、河岸では舟積輸送が主な仕事であったが、ほかに倉庫業や発送荷や着荷を馬で陸送する業務も行っていた。その馬による輸送を岡附（または駄走）といった。

舟運は水が豊かな那珂川が主であった。久慈川の舟運は難所が多く、冬の渇水などの理由から那珂川とは比較にならなかったが、下野宮・太子・此藤（現在の太子町）にも開設されており、そこから年貢米、近隣諸村の産品、板材などが駄走された。

原則として、年貢米は一駄（一頭の馬が運ぶ量）二俵、板などは一駄四束と決められており、この駄賃付けに、近くの農民が河岸問屋に雇われた。この岡付帳は、宝暦八年（一七五八）に付けられたものである。



近世

③

ほしかちよう
干鰯帳
（下江戸 那珂通裕氏所蔵）

下江戸河岸は、湊（現在ひたちなか市）、磯浜（現在の大洗町）、大貫（現在の大洗町）などからの、海産物を中継していた。

特に干鰯（鰯の油を絞り乾燥させたもの）は農作物の肥料として農業には欠かすことはできず、多量の干鰯が輸送された。

この干鰯帳は、宝暦一二年（一七六二）に書かれたもので、下江戸河岸における、干鰯の中継取扱量が記されている。

この年は、一三一艘の船が出舟し、粕が九七二俵、干鰯が四〇九四俵、五十集類（乾魚や塩魚など）の個俵箱が一六七個輸送された。この文書からは、湊、磯浜など下川からの荷を中継地である下江戸で積み替え、下野（現在の栃木県）方面へ送られた内容を知ることができる。



平成13年度 企画展紹介

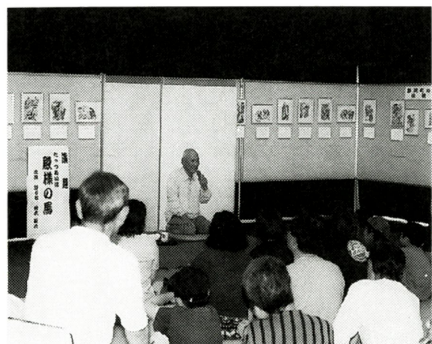
第九回特別企画展 那珂町の民話展

昨年七月二十日～九月二日まで那珂町歴史民俗資料館多目的ホールで開催しました。

この企画展は、夏休み期間中ということもあり、子供さんを始め多くの方々に那珂町に残る民話に親しんでいただきたいと企画しました。

展示室には、平成九年度に発刊した『那珂町の民話』の挿絵原画約五十点や写真パネルを展示しました。この挿絵は、町内在住の画家松山栄氏によるもので、物語の特徴をとらえた表情ゆたかで人情味あふれる作品です。

また、期間中には、町内の読書サークルくさぶえとあめんぼの皆さんによる民



語り部 鈴木新氏公演の様子

話の読み聞かせやたつたあい劇団の『額田のたつたあいはなし』芝居上演、また、水戸市在住の語り部鈴木新さんをゲストに迎え、民話の語りも行いました。

それぞれのイベントに多くの方々が訪れ、民話の世界を堪能したようでした。

来館者からは「子供もいっしょに楽しめ、良い企画展だった。」「原画とともに芝居や読み聞かせも楽しめ、心に残る企画展だった。」等の感想を頂きました。

また、この企画展の様子は、那珂町歴史民俗資料館からNHKラジオの生放送で紹介され大きな反響がありました。

期間中の来館者は一、一五三名でした。

第十回特別企画展 那珂町の職人展

この企画展は、昨年の十月二十七日～十二月一日まで、町内で活躍する工芸品等の職人さん十名を作品とともに紹介しました。

展示品は、仏像、手織布、皮革加工品（ベルト）、陶芸、篠笛、木工品、能面、木目込み人形、畳、頭人形で約七十点を展示しました。

那珂町には残念なことに、伝統工芸として伝えられたものがありません。しかし、



職人展展示会場の様子

先に挙げた各種の技術が町に根ざしつづいています。

「どんなに機械化が進んでも私たちの仕事はなくなることはありません。素材の性質や出来の良し悪しが判断できるのは、長年培った「感」と「目」だけです。人にならばできない仕事というものもあるんですよ。」

これは、ある職人さんの言葉です。その言葉が示すように、展示した作品は繊細で手の温もりを感じる素晴らしいものばかりでした。

来館者からは、「那珂町にすごい職人さんがいたことに驚いた。この企画をぜひ続けてほしい。」「町内にこんな素晴らしい技術を持った人がいることに感心したと同時に那珂町の誇りだと感じた。」

「郷土に素晴らしい人たちがいることを教えた今回の企画展は意味が大きい。」等の賛辞を多数頂きました。○期間中の来館者は一、〇二〇名でした。



展示の様子

雛人形展示

那珂町の職人展出展協力者氏名

※ご協力いただいた方々（五十音順 敬称略）

- 赤土隆光（仏師）
毘沙門天像
- 伊藤博夫（皮革加工）
ベルト
- 岩谷 稔（木工）
スギ衝立・手元タンス他
- 大豆生田博子（テキスタイルアーティスト）
手織布によるジャケット他
- 木野内健一（畳）
五角形畳
- 鈴木幸男（陶芸）
辰砂壺 他
- 鈴木良照（面打師）
能面・般若・童子他
- 安原正芳（木目込み人形師）
雛人形
- 故人
●小林重夫（頭人形師）
頭人形・連獅子、武者 他
- 成田正（篠笛職人）
能管、篠笛
出展者 成田節男

その他の催しもの



けん玉の練習に励む参加者たち

昔のあそび教室

平成十四年三月二十四日、資料館・多目的ホールにて、講師に日本ケン玉協会水戸支部の川又計之輔さんを迎えケン玉や、ベゴマの遊び方に挑戦しました。

参加者は那珂町近郊の小学生及び保護者約二〇名で、中にはベゴマもケン玉も初めてだという子供さんもいましたが、慣れない手つきながらも一生懸命練習する姿が印象的でした。

▼入館者月別・町内外別調べ (4/1～3/31)

月	開館 日数	入館者数			団体入館者等
		総数	町内	町外	
4	26	305	164	141	本米崎小6年生 木崎小6年生
5	26	469	182	277	菅谷東小3年生 額田小4年生
6	26	382	159	223	芳野小3年生 本米崎小4年生 岡岡市教育委員会
7	26	373	149	224	
8	24	462	179	283	転入教諭研修
9	24	630	314	316	ふるさと教室
10	26	315	178	137	いきいき大学
11	26	907	504	403	菅谷西小3年生・那珂四中 本米崎小3年生・那、久郡教委 額田いきいき大学・五台分館 那珂町文化財愛護協会
12	20	70	28	43	
1	22	187	98	89	横堀小3年生
2	24	231	110	121	
3	27	386	160	226	
計	297	4,718	2,225	2,493	

目次箱(アンケート)より

(1) 展示コーナー人気ベスト3

1位 舟形石棺と映像「水鳥が語る
古代のロマン」

2位 大助祭 菅谷上之町の山車

3位 農家のくらし 曲がり付き民
家と長屋門の模型

(2) 入館者の意見・感想

●館内がとてもきれいで気持ちよく
使用できた。昔のおもちやで遊ば
うコーナーがとても面白く今後も
体験できるコーナーを続けてほしい。

(水戸市 女性)

●展示物も見やすく職員の応対も良
く好感が持てた。ただもう少し掘
り下げた展示解説もほしい。

(水戸市 男性)

●那珂町がいかにかに歴史のある町であ

るか再認識できた。こういう場所
を大切に利用すべきだと思う。

(町内 男性)

●昭和の物がとても懐かしく思い出
された。大昔よりも子供の頃の懐
かしい展示を望む。(大宮町 女性)

●資料の収集、展示に工夫の跡が見
られ感心した。遠方なので再訪で
きないのが残念。(明野町 女性)

(3) 今後の企画展の希望

●那珂町の民俗事情を伝える企画展
●明治以前の農家・商家の道具類の
展示

●那珂町と外国との交流の歴史

●時代に応じて有名な特産物や人物
の紹介

●那珂町を支配した佐竹氏
(貴重な)意見・ご感想ありがとうございます
(さいました。)

平成13年度 寄贈・寄託者一覧

受付順 敬称略

◎寄贈品及び寄贈者

●アルマイトヤカン・棹秤他(中台・後
藤みつる) ●古文書(瓜連町・石川肅)

●古銭・町村合併記念御国旗(額田北
郷・津久井昌明) ●頭人形・道具・材料

他(額田南郷・中沢範行) ●古銭・矢
立他(額田南郷・加藤宗次) ●庚申講

掛軸(下江戸・小貫隆夫) ●雛人形
掛軸(下江戸・小貫絢子) ●庚申講掛軸(下

江戸・小貫茂) ●十九夜講掛軸(菅
谷・飛田志津加) ●国民年金集金カバ

ン(菅谷・川又義雄) ●タイプライタ

ー・戦時貯蓄債券他(菅谷・片岡京子)

●足踏みミシン・二石樽(菅谷・飛田一)

◎寄託品及び寄託者
●長持・屏風・兜(額田北郷・渡辺明)

●寄贈・寄託者の方に厚くお礼申し上
げます。今後も資料館の充実を図って
まいりたいと思いますので町の歴史や
民俗に関する資料等がありましたら皆
様のご協力をよろしくお願いいたしま
す。

《特別企画展のお知らせ》

平成十四年度
特別企画展案内

○収蔵品展 那珂町先住民の遺産2

・町内遺跡及び出土品の紹介

・会期7月20日～9月1日

○第11回特別企画展 村絵図展

・那珂町の江戸時代の村絵図の紹介

・会期10月26日～11月30日

※詳しくは、町広報等でお知らせ致
します。

編集後記

本日「水鳥7号」をお届けいたし
ます。

那珂町の文化の新たな一面を知っ
ていただければと、昨年職人展を開
催しました。その中でも紹介した能
面と頭人形を、現在常設展示室に数
点展示しています。

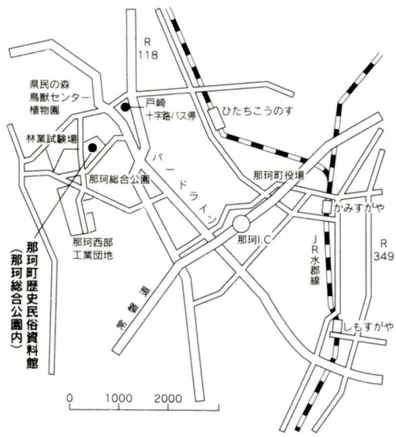
限られたスペースで皆様に那珂町
の文化・歴史をより知っていただく
ために、まだ課題はありますが、ア
ンケート等で寄せられた意見を参考
により良い資料館運営を心がけてい
きたいと思っています。

資料館ではホームページも開設し
ています。メールでのご意見、ご感
想もお待ちしております。

ホームページアドレス

http://www.net-ibaraki.ne.jp/
nakatown/siryokan-homepage/

案内図



●休館日 毎週月曜日
年末年始
●入館料 無料